**器官制御外科学講座呼吸器・乳腺内分泌外科学分野**

**教授候補者についてのアンケート**

候補者 現職

 氏名

※　本アンケートは教授選考の参考とするためのものです。

回答は簡潔に記載してください。

**１．医学教育**

①　学生（大学院生を含む）に対する講義、実習経験（担当分野と担当年数）について記載してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **授業科目名** | **内容** | **学部・学年** | **年間授業数** | **区分** | **年数** |
| 例）呼吸器外科学 |  | 医学部3年 | 5 | 講義 | 6 |
| 例）乳腺外科学 |  | 医学部3年 | 5 | 講義 | 6 |
| 例）臨床実習 |  | 医学部5年 |  | 実習 | 5 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

②　臨床実習あるいは講義などで学生に呼吸器・乳腺内分泌外科学の魅力を効果的に教えるための工夫や、学生の動機付けを高めるために工夫された点などについて試みてこられたことについて記載してください。

③　地域における人材確保のために、学生に対する取り組みをいかにすべきか、また入試における地域枠に対するお考えを記載してください。

④　研究マインドを持たない医師が増えており、将来の日本の医学・医療のレベル低下に結びつくことが危惧されています。医学教育の中で研究マインドを醸成するための方策等について記載してください。

⑤　新専門医制度が開始されている中で、今後の大学院教育等による研究者育成方針について記載してください。また、学位取得時期についてもご意見を記載してください。

⑥ 外科専門医（サブスペシャリティー領域を含む）の育成に関するこれまでの実績および育成方針について記載してください。ほかの外科系診療科との連携協力についての工夫・実績および展望について記載してください。

⑦ 教室員・大学院生その他に対する研究指導実績について（できるだけ具体的に）記載してください。

**２．研究**

①　これまでのご自身の研究の特色と今後の研究における抱負を記載してください。鳥取大学に赴任した場合の研究の継続性についても触れてください。

②　研究論文の数・質を上げること、科学研究費補助金に代表される競争的研究資金を積極的に獲得することが求められています。これらに向けてのご自身の工夫やお考えがあれば、記載してください。

③　研究を進めるにあたり、学内の他の研究室（臨床医学、基礎医学、生命科学科、保健学科）と、どのような協力関係を築くべきか、お考えやご希望があれば記載してください。

④　これまでに自らが中心的役割を担った臨床研究の中でUMIN，Clinical Trials.gov，jRCTなどに登録したものがあれば、その研究名、ID、自らの役割について、代表的なものを5つ以内で記載してください。論文として発表しているものがあれば、その論文名もあわせて記載してください。

**３．診療**

①　これまでの臨床経験について記載してください。

１）専門医としての経験期間

|  |  |
| --- | --- |
| **専門医等の名称** | **年数** |
| 例）呼吸器外科専門医　乳腺専門医　など |  |
|  |  |

２）病棟・外来など診療業務での指導・管理実績（内容とその期間）

|  |  |
| --- | --- |
| **内容** | **期間** |
| 例）○○医長 |  |
|  |  |

②　これまでの手術実績について記載してください。

2019年4月〜2024年3月までの期間に執刀もしくは指導された手術症例数につき、手術名、難易度（外保連試案2024の技術度A-E）、術者としての件数、指導した件数の順で別紙に記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **手術名** | **難易度** | **術者件数** | **指導件数** |
| 例）○○手術 | B | 10 | 5 |
|  |  |  |  |

③　2019年4月〜2024年3月までの期間に術者として経験した代表的手術10症例の手術記録のコピー(患者氏名、ID等個人情報はマスクしてください)を添付してください。

④　ご専門の領域における診療レベルおよび実績の向上のために、これまで取り組まれてきたことを具体的に記載してください。

　⑤　低侵襲手術（ロボット手術を含む）についての実績や展望等ございましたら、記載してください。

⑥　治験の実績と今後の取り組みに関するご意見を記載してください。

　⑦　産学連携の実績と今後の取り組みに関するご意見を記載してください。

⑧　今後の診療における抱負について（ご自身の専門分野とそれ以外の分野に分けて）記載してください。

**４．大学・施設・学会等の管理運営**

①　大学の管理・運営に関する役員、委員等の経験について、組織名、役職名、年数を記載してください。現在の所属先以外の役職を記載いただいても構いません。

　※行が足りない場合は適宜追加してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **機関・部局** | **役職名** | **年数** |
| 例）○○学会　△△委員 | 例）医学部教育委員会委員 |  |
|  |  |  |

②　国内外での学会等における役職、各種委員会の名称と年数について記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **学会名と役職・委員会等** | **年数** |
| 例）○○学会　△△委員 |  |
|  |  |

　③ これまでに査読した学術雑誌の名称を記載してください。

**５．鳥取大学医学部にご赴任になった場合の診療科の運営方針**

①　呼吸器・乳腺内分泌外科学分野を担当する上での診療・教育・研究に関する運営方針について記載してください。

②　地域医療の中心を担う大学医学部としての運営方針をご記載ください。特に、今まで所属していた施設・機関での地域連携および医師派遣体制を踏まえて、赴任後の地域医療機関への医師派遣システムに関するお考えや、関連病院との連携、機能分担に関する今後の方針を記載してください。

③　教室員を増やすための方策について、これまでの取り組みや着任後の人材確保についてお考えを記載してください。また、医師の働き方改革に関しての対策やお考えを記載してください。

**６．その他参考となる事項があればご記載ください。**

その他教授選考の参考となる事項があればご記載ください。（履歴書、研究業績目録、上記アンケートの記載内容との重複は避けてください。）